

コラム～安全だより～

令和7年6月（通算第150号）
発行：
公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

令和6年度のハチ刺されによる事故は13件で、令和5年度の39件を大きく下回りました。しかし、猛暑の年は活動時期が早まる可能性がありますので、今年も注意が必要です。

ハチのいるところに近づかない&ハチに刺されにくくする対策で身を守ろう



身近なところで刺されています

= 令和5・6年度に発生したハチ刺され事故事例より =

屋外清掃中にハチに刺された

マンション敷地内の低木にホースで散水作業をしていた際、低木に隠れていたスズメバチの巣から出てきたハチに刺された

除草作業中、生垣にかかったヤブカラシを引き下ろした際、中からスズメバチが飛び出し左手甲を刺された



植木の剪定作業中、剪定していた植栽の中からスズメバチが出てきて刺されてしまった

自転車に乗って会報誌を配付中に、前方から飛んできたハチにあごの下を刺された



ハチの活動期間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オオスズメバチ												
コガタスズメバチ												
ヒメスズメバチ												
キイロスズメバチ												
セグロアシナガバチ												
ミツバチ												

活動期間

特に危険な時期

近づかない！

ハチが飛んでいる場所は、たいてい近くに巣があります。ハチはむやみに人を刺しませんが、不用意に近づくと巣を守ろうとして刺すこともあり、特に「カチカチ」と音を放っているときは攻撃態勢なので、すぐに退避しましょう。

万一刺されてしまったら…

- 刺された場所から離れる【←ここ重要】
- ポイズンリムーバーで毒を吸い出す
- 傷口を洗い、抗ヒスタミン軟膏を塗る

露出は少なく、黒色をさけて！

- 長袖・長ズボン・タオルで肌を覆う
- 黒っぽい服装を避ける
- 帽子とゴーグル（黒目部分の保護）着用
- 匂いの強いもの（化粧品・整髪料・清涼飲料水など）を避ける

※もし目の周りを刺されたり、刺された後に気分が悪くなったりした場合は、すぐに病院に行きましょう。